

## 第 30 期理事会議事録

日時：2018 年 11 月 17 日（土） 10：30～12：30

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋 22E 会議室

出席者（50 音順、敬称略）：江口（学術） 上田（選挙） 梶原（全国大会） 坂本（関東） 佐藤（総務）  
中谷 敦（研修） 中谷 淳子（広報） 西（東海） 深井（近畿） 宮本（会長） 守田（会計） 山崎（広報）  
山瀧（広報） 吉積（九州） 荒武（幹事，記）

欠席（50 音順、敬称略）：樋上（研修、櫻風会）

### 1. 会長挨拶（宮本）

平成最後の全国大会となる。30 回目の節目の大会。あり方検討会も進んで今後 10 年の羅針盤を設定してもらおう。開学 40 周年記念事業の寄付金が目標をかなり下回っている。今回、建築物関係は事業に含まれていないが、首都圏交流事業を含む卒業生産業医等支援事業や学生支援事業も予定されており、ふるさと納税のような意識で寄付の協力をお願いしたい

### 2. 第 30 回全国大会（梶原）

30 周年の節目にあたって、産業保健職としての「成長」をあらためて考える場にしたいと考え、テーマを『守・破・離 ～新たなステージへの挑戦～』とした

### 3. 予算決算報告（守田）

#### 1) 第 29 期決算

#### 2) 第 30 期予算

- ・大学開学 40 周年記念事業に 100 万円募金を行った。今後 50 周年に向けて、毎年 10 万円ずつ積立する
- ・クレジット決済案内月の納入が急増した
- ・第 30 回全国大会では 20 万円の追加支援を行った
- ・あり方検討会の予算化を継続する
- ・「研修・教育」の座談会を予算化する

→ 第 29 期決算および第 30 期予算は総会で承認された

### 4. 部会報告

#### 1) 総務（佐藤）

- ・登録正会員数 702 名
- ・新会員管理システムは、会員登録の自動化、支払いメッセージの自動送信などの利点がある一方、不具合や使いづらさもあるため、見直しを検討する
- ・産業保健ストラテジーシリーズの第 4 巻 職場面接ストラテジーの改訂版が 12 月に発売される

#### 2) 広報（山瀧，山崎，中谷 淳子）

- ・メーリングリストの運用について、アーカイブ機能について、審議された。

- ・産推研の認知向上のため、産業医科大学学会の際に PR することなどを検討する

### 3) 学術（江口）

- ・名簿を使った調査研究依頼は、日本産業衛生学会医学部会等を通して行われる傾向にあり、減少している。メーリングリストを通じた研究協力依頼は、各種研究会等の周知と同様、理事会の承認は必要ない。学術担当理事の活動活性化のための具体的な方策の検討を依頼された。

### 4) 研修・教育（中谷 敦）

- ・座談会「産業医大卒の産業医の存在意義とは」の開催を予定する。

## 5. 地方会報告

### 1) 関東地方会（坂本）

- ・2018年6月27日、研究会（働き方改革）を開催、参加者26名
- ・2018年10月19日、研究会（産業保健とAI）を開催、参加者26名
- ・2019年1月26日、研究会（これからの産業保健）を予定
- ・2019年3月22日、修練医の産業医活動報告を予定
- ・他地方会との公平性を考慮した上、学生支援を検討する

### 2) 東海地方会（西）

- ・他地方会と比較し、専攻科/看護学科の会員比が高い
- ・2018年4月7日に研究会（活動報告）を開催、参加者37名
- ・2018年9月1日に研究会（大学における産業医活動）を開催、参加者25名
- ・第31回全国大会を2019年11月16日、静岡県沼津市にて、テーマ「新世代の産推研 - 卒業生の共働 - 」を予定
- ・2019年5月22～25日に行われる第92回日本産業衛生学会の実行委員の多数が東海地方会員である

### 3) 近畿地方会（深井）

- ・2018年2月24日、研究会（Appreciative Inquiry を用いた組織開発）を開催、参加者28名
- ・2018年7月21日、研究会（女性就労支援）を開催。参加者42名、託児所の開設、懇親会を研究会の会場内にてケータリングで行ったこともあり、参加者は過去最多となった
- ・2019年2月2日、研究会（O157）を予定

### 4) 九州地方会（吉積）

- ・2018年1月27日、研究会（過重労働）を開催、参加者65名
- ・2018年10月6日、研究会（認知行動療法）を開催。参加者60名、台風直撃のなか、来場できなかった方にもネット配信で参加いただいた

## 6. 大学・同窓会（荒武）

- ・新教授就任の紹介があった
- ・急性期診療棟の建設を予定している
- ・大学開学40周年記念事業について、常務理事、学長より、各学年の同期会幹事、学年のまとめ役を通じて募金活動に協力してもらいたいとの依頼があった

## 7. あり方検の進捗報告（西）

・2018年6月に第4回、7月に第5回検討会にて、産推研の価値の高め方、会の方向性、運営課題について検討した

- ・会員へアンケート調査を実施予定
- ・2019年に第6回検討会を実施予定
- ・2019年に臨時理事会にて報告予定

以上